

学力向上プラン作成例 様式 1		令和 8 年度学力向上プラン (学校)									
教育委員会名		学校名		校長氏名		副校長・氏名					
教育委員会		学校									

学力向上における目指す児童生徒の成長 自分考えが伝わりやすくなるように根拠や理由を示して表現できる児童 (生徒)											
Research (実施時期) & Plan (目標設定)					児童生徒の 現状と 目指す 姿	※指標 (全学年学力・学習状況調査)					
国語	R5		R6			R7		R8		R9	
	全校	学年	全校	学年		全校	学年	全校	学年	全校	学年
知識及び技能	全校 70.9%	学年 72.9%	全校 72.8%	学年 77.6%	全校 78.8%	学年 77.8%	全校 78.8%	学年 77.8%	全校 78.8%	学年 77.8%	全校 78.8%
思考力・判断力・表現力等	全校 61.9%	学年 63.9%	全校 63.9%	学年 68.9%	全校 73.9%	学年 73.9%	全校 73.9%	学年 73.9%	全校 73.9%	学年 73.9%	全校 73.9%
学習態度	全校 60.1%	学年 62.1%	全校 62.1%	学年 66.1%	全校 76.1%	学年 76.1%	全校 76.1%	学年 76.1%	全校 76.1%	学年 76.1%	全校 76.1%
学習態度	全校 65.6%	学年 67.6%	全校 67.6%	学年 71.6%	全校 78.6%	学年 78.6%	全校 78.6%	学年 78.6%	全校 78.6%	学年 78.6%	全校 78.6%
学習態度	差 -6.4%	差 -3.9%	差 -3.7%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%	差 -3.0%

Research (実施時期)		Plan (目標設定)	
※向上している児童・能力向上に導く児童も考えられる。 【自己の考えが伝わりやすくなるように書き出し方を工夫して書くことに関する目標】 ・上記の観点によると、国語の「思考力・判断力・表現力等」で複数年における課題が見られる。特に文章構成に関する課題が顕著である。加えて令和7～7年度調査結果における「書く」を表を見ると、「書くこと」における記述式の表現で「曲線が突出している」		【記述力】主題と課題を適切に扱い、説明の順序を考えて書くことができる。 【中学年】自分の考えとそれを支える理由を明確に述べて書くことができる。(学校内テスト 85.0%) (学年平均との差 R7-R8=+1.5p)	

Plan (計画)	Do (実行)	Check (確認・評価)	Action (改善)
【Plan (計画)】 ※プラン達成後に実施、変更、修正、改善を行う。 ※年度末実施を前提として実施し、7月・8月・9月・10月・11月・12月・1月・2月・3月・4月 【前期の目標設定】 ※各教科における共通達成	23日 全学年(国語) 22日 全学年(国語) 24日 全学年(国語) 25日 全学年(国語) 【前期の目標設定】 ※各教科における共通達成	【Check (確認・評価)】 ※各教科における共通達成	【Action (改善)】 ※各教科における共通達成

Do (実行) 【目標を達成するための手立て】											
※各教科における共通達成											
【Check (確認・評価)】											

Action (改善)											
※各教科における共通達成											